



コロナ対策 なにより、いのち。

第6波を起ささないために

今こそ検査と支援の拡大を

検査対象拡大を

早期発見と感染拡大防止には、検査対象拡大が重要です。
飲食店や高齢者施設では、無症状の職員や施設全体を対象にした検査を行いました。今はやっています。学校・園には、一人でも感染者が出たら、クラスや学校・園全体のPCR検査の実施を方針にして、拡大防止策を取ることが必要です。
「いつでも 誰でも 何度でも 無料」検査を受けられる体制をつくっておくことが必要です。

自宅療養方針は撤回を

厚生労働省は、8月2日に重症者以外は原則自宅療養の方針を発表しました。
岡山市では8月27日時点で724人が自宅療養でした。当時、病床は半分以上、空いていました。市は「必要な人は入院できている」としていますが「自宅療養では十分な治療が受けられなかった」との声があります。入院を
国が重症者以外は自宅療養という方針のままでは、根本的に病床や療養施設を確保する方針が出せません。
市も国に方針の撤回を求めるとともに、病床と療養施設の確保に努める必要があります。

学習保障は無償にすべき

ネット環境がない世帯に市教委が貸し出すモバイルルーターは、月額1650円の通信料が掛かります。(低所得世帯は補助あり)
義務教育無償化の観点から、保護者負担はやめるべきです。

コロナ対策で8回目の申し入れ



医療確保・PCR 対象拡大・営業や生活の支援などを市に申し入れる
党市議団と森脇ひさき前県議、やどめ和子さん (8/30)

いま、必要な対策はこれだ！



中区市議補選

やどめ 候補
大健闘

10月3日投開票の中区市議会議員補欠選挙で、日本共産党公認のやどめ和子候補は、子育て支援の拡充を求めて共感を広げ、中区で過去最高の得票を得ましたが、及びませんでした。
日本共産党岡山市議団は、引き続き18歳までの医療費無料化や認可保育園での受け入れ拡充、国民健康保険料・介護保険の負担軽減などを求めています。

やどめ和子	11,297票
当 花岡栄太郎	19,044票
とうせひでゆき	7,462票